

# 荷物 の 用意

## 機内預け荷物 (飛行機の貨物室に預ける荷物)

利用航空会社によって機内預けが可能な荷物 (受託手荷物) の大きさや重さ、個数の制限が異なります。事前に各航空会社のホームページなどでご確認ください。(制限を超えた場合、追加料金が必要となりますのでご注意ください)

喫煙用ライターや安全マッチは機内預け荷物に入れることができません。また、現金・貴金属・電子機器などの貴重品も機内預け荷物に入れないこと

スーツケースベルトを締めて自分の目印に



スーツケースに当日添乗員がお渡しする名札をおつけください。また、スーツケースをデジカメラで撮影しておく、色や大きさ、メーカーなどを伝えるのに役に立ちます。

## 機内に持ち込む液体物の準備

保安上、日本出発の国際線待合所内へ液体物を持ち込む際には制限があります。

液体物は100ml以下の個々の容器に入れてください。

### 例外

下記の液体物は検査免除の対象となっていて、到着地までの必要な量は100mlを超えていても持ち込むことができます。

- ①ベビーフード→乳幼児が同乗している場合
- ②医薬品 (目薬、コンタクト保存液含む)
- ③糖尿病などで医療上必要な液体

※②、③については必要であることの証明(診断書などの提示)が求められる場合があります。

## 機内持ち込み手荷物 (飛行機の客室に持ち込む手荷物)

客室に持ち込める荷物は1人1個で、大きさは一般的に幅・高さ・奥行の和が115cm以内で座席の下に収納できる大きさが目安となります(但し航空会社によって異なります)。幼児用の機内持ち込み荷物(折り畳み式ベビーカーは持ち込めない場合もあります)の総重量は7~10kg以内が一般的です。

持ち込み禁止荷物の詳細は国土交通省のHPをご参照ください。

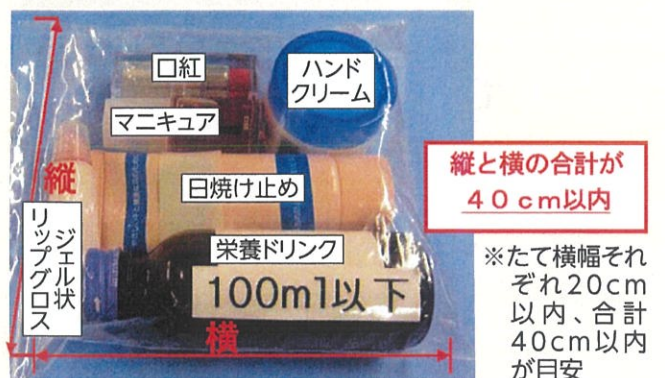
<http://www.mlit.go.jp/common/000993849.pdf>



ファスナーなどでしっかりしめるものを

パスポート、日程表、財布、航空券はすぐに取り出せるように(パスポートは肌身離さず)

容器は1L以下のファスナー付き透明プラスチック袋に余裕をもって入れてください(1人1つまで)



化粧品・虫よけなど医薬部外品(非放射性)のスプレーは100ml以下の容器での持ち込みが可能  
※液体物機内持ち込み専用袋については、申し込み店舗にて事前にお渡し致します。当日、添乗員も予備をお持ちします。



## こんな物も液体物(一例)

<p>●調味料</p> <p>味噌、しょう油、マヨネーズ、おろしショウガ</p> 	<p>●スプレッド類</p> <p>ピーナッツバター、ジャム、フルーツソース</p> 	<p>●乳製品</p> <p>コンデンスミルク、生クリーム</p> 	<p>●調理品</p> <p>カレー、シチュー、おかゆ</p> 	<p>●スープ</p> <p>コーンクリームスープ、パンプキンスープ</p> 
<p>●菓子材料</p> <p>練りあん、こしあん、はちみつ、シロップ</p>  <p>※加工した大福や最中は液体物ではない</p>	<p>●漬物類</p> <p>塩辛、しば漬け、ラッキョウ、梅干し、キムチ</p>  <p>※水分の少ない「かりかり梅」は液体物ではない</p>	<p>●水物</p> <p>豆腐、こんにゃく、生湯葉</p> 	<p>●缶詰</p> <p>野菜、みつまめ、あんみつ、おでん</p>  <p>※含有する水分がとても少ない水産缶詰(シーチキン、カニ缶など)や畜産缶詰(コンビーフなど)は液体物ではない</p>	<p>●デザート、ヨーグルト</p> <p>ゼリー、プリン、ババロア</p> 
<p>●健康食品</p> <p>ローヤルゼリー、高麗人参エキス</p> 	<p>●アイスクリーム類</p> <p>アイスクリーム、かき氷、氷類</p> 	<p>●化粧品類</p> <p>歯磨き粉、シャンプー、液体ソープ、軟膏、保湿クリーム、化粧水、メイク落とし、虫よけスプレー、保湿リップクリーム、香水、マウスウォッシュ</p> 		

医薬品類(非放射性のもの)は、100ml以下という容器の制限がなく、1L以下のプラスチック袋に入れる必要はありません。**→ただし「医薬品」として検査員に申し出る必要があります。その際、診断書や処方箋などの証明書の提示を求められるので、事前にご用意ください。**

【例】●液状、ジェル状の処方薬品、市販薬品

- 食事療法者、身体障がい者、輸送患者用の水、ジュース、液体栄養食品、糖尿病患者用の特別食品
- 乳児用離乳食、母乳、妊婦用食事など(ただし乳幼児同伴の場合に限る)